

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 2 部門第 4 区分
 【発行日】 平成 18 年 12 月 21 日 (2006.12.21)

【公開番号】 特開 2005-199463 (P2005-199463A)
 【公開日】 平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)
 【年通号数】 公開・登録公報 2005-029
 【出願番号】 特願 2004-5566 (P2004-5566)
 【国際特許分類】

B 3 2 B 27/00 (2006.01)
B 3 2 B 5/00 (2006.01)
C 0 9 J 7/02 (2006.01)
C 0 9 J 201/00 (2006.01)
G 0 9 F 19/22 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B	27/00	M
B 3 2 B	5/00	Z
C 0 9 J	7/02	Z
C 0 9 J	201/00	
G 0 9 F	19/22	H

【手続補正書】
 【提出日】 平成 18 年 11 月 8 日 (2006.11.8)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 0 0 3 7
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 7】

比較例 4

<画像付きフィルムの準備>

スコッチプリント 9 5 1 2 システム (スリーエム社製静電プリンター) でトライデント (Trident、スリーエム社製トランスファーマEDIA) に転写用デジタル画像を形成した。次に、オルカ I I I (スリーエム社製ヒートラミネート) でアクリル系粘着剤付き白色塩化ビニル樹脂フィルム (スリーエム社製 ER010) に画像を熱転写した。オルカ I I I の設定条件は、上部ロール温度: 135℃、下部ロール温度: 50℃、スピード: 70 cm/分、圧力: 60 psi であった。

透明保護フィルムを貼り付ける代わりに、ウレタン系透明樹脂 (スリーエム社製 GA3S クリヤー) を乾燥後の塗布厚が 20 μm となるようにナイフコーターを用いてコーティングし、透明樹脂層を設けた。

摩耗試験後の減少質量は 0.51 g、230 回転後に粘着剤が露出した。

耐滑り性は満足できるものではなかった。

20℃での伸び率は 100% 以上、5℃での伸び率は 29% であり良好な伸び特性を有することが示された。

5℃環境下での剥離作業性は良好であり低温作業性は Good と判断された。